



●心を一つに! 村松小学校吹奏楽部、東関東大会へ!

第22回「東関東吹奏楽コンクール」へ出場

8月10日に行われた第56回「茨城県吹奏楽コンクール」において、村松小学校吹奏楽部が金賞を受賞し、第22回「東関東吹奏楽コンクール」への出場を決めました。2～6年生の36人が活動する吹奏楽部。日々の放課後の練習に加え、夏休みには早朝から練習を積み重ね、4年ぶりに東関東大会出場への切符をつかみました。「みんなで演奏できることに感謝して、最高の演奏をしたい」「自分はもちろん、お客さんにも感動を与えられるような演奏をしたい」と、部員たちはそれぞれの意気込みを話してくれました。なお、東関東大会は9月11日に行われ、銅賞を受賞しました。



●“腸内環境”から考える新しい健康づくり

平成28年度「東海村健康づくり講演会」

9月9日、東海村産業・情報プラザ^{アイヴィル}「茶色い宝石が切り拓く病気ゼロの社会」と題し、腸内フローラに関する講演会が行われました。講師の福田真嗣さん(農学博士・慶応義塾大学特任准教授)は、腸内細菌の最先端研究者。健康や疾病に関するさまざまな情報が得られることから、便を“茶色い宝石”と呼び、最先端テクノロジーを使った研究で、新しいヘルスケア産業の創出を目指しています。講演では、腸内細菌に関する研究発表はもちろん、“腸内環境”を整えるための“マイヨーグルトの選び方”などの話もあり、熱心に耳を傾けていた来場者たち—



“腸内のバランスが体全体に影響する”ということを知り、あらためて健康づくりを考えるきっかけとなったようです。

●ほしいもに関する書物を、ぜひご活用ください!

「ほしいも文庫」を村立図書館に配架

このたび、茨城大学特任教授の先崎千尋さんから、「ほしいも文庫」が寄贈され、9月7日、村立図書館で資料の贈呈が行われました。「ほしいも文庫」は、ほしいもに関する書物のことで、全国各地から集められた貴重な資料です。今回は、平成24年に贈られた200点に続き、文献や記録等、16種類が村立図書館の「ほしいも文庫」コーナーに配架されました。現在も、郷土学習の資料等として、小中学生から



目録を手渡す先崎さん(写真左)と山田村長

年配の方々まで利用者が多いという「ほしいも文庫」。ほしいもに関する貴重な文献がそろっていますので、皆さんぜひご活用ください。

●戦争の悲惨さ、そして平和を伝える機会に…

平和大使報告会

8月26日、村立図書館において、村内の小中学校から平和大使として広島市を訪問した児童・生徒(10人)による体験報告会「平和について考えよう Peace Messenger Forum in TOKAI」が行われました。広島平和記念式典への参加や資料館の見学、原爆体験者の声を聴き、灯籠に思いを乗せて川面に浮かべたこと—広島でのさまざまな経験を通して、自分たちにできることは何なのかを考え、発表する場として設けられたこの催し。エンジョイサマースクールの一環として参加した小学生たちとグループ協議を行い、質問に答えたり、感想を聞いたりしながら、共に平和への思いを深めました。



【お詫び】戦争の悲惨さ、そして平和を伝える機会に…の記事に、誤りがありました。この紙面はデータを修正し、正しい内容を記載しています。